

「ひらめきで解決せよ！ ナソトキ探偵事件簿 ～あやしい挑戦状～」

◆◆◆ おまけエピソード ◆◆◆

きょう 今日ほんとうにいろんなことがあったな。  
おも 考え 思い返しながらしばらくある歩いていると、ぼくのうちがみ 家が見えてきた。

「あかりがついてるゲソね」  
「父さんと母さんが帰ってきてる！」  
ドアをあけると、オレンジ色のひかりとおだやかな笑い声がかえりもれてくる。  
リビングから、母さんがひょっこり顔をのぞかせた。

「あきら、おかえり」  
「家に帰ってきたとき家族に言う言葉」を、もちろんぼくは知っている。

「ただいま！」

きょう 「今日はすごくたくさんのおまけを解いたよ」  
「あきはすっかりナソトキ町の子になったみたいだね」  
いそが 忙しい父さんに会うのは久しぶりだ。  
「父さんもしごと、忙しい？」  
「まあな。今追っている事件の犯人……怪盗が、さっき予告状を残していったんだ」  
「怪盗って？」  
めいたんてい しゅくてき 名探偵の宿敵だよ。それにしても今回の予告状は、また難しくくてね」  
ばらいろのカードに白く印刷された文章を、ぼくは目で追った。

この町にある“ひらめきを食べる置物”をいただきます。  
生きたすがたには興味がありません。  
再び彼が封印される時、必ず私は現れるでしょう。  
怪盗F

……これ、ユリイカくんのことだ！

ユリイカくんはさらわれた。  
でも「生きたすがた」だったから気絶させられただけで帰ってきたにちがいない。  
怪盗は、ユリイカくんがまた元の置物に戻るのを待っている……。

急に考えごとをはじめたのをふしぎに思ったのか、そこで母さんが口をはさんだ。  
「今日はそのくらいにしたら？ 休むのも、名探偵見習いのしごとだよ」  
そう言われて、ぼくはとても疲れていることに気がついた。  
たしかに、休息は必要かも。怪盗から友達を守るためにもね。  
……これからおもしろいことが起きそうだ。ナソトキ町の夜は、こうして更けていく。

※すべてのナソの答えの頭の文字を抜くと、「いえにかえってきたときかそくにいうことは？」になる。  
おまけナソの答えは、「ただいま」！ キミはわかったかな？